4. USAID

3-2 で記述したとおり、USAID では国別プログラム評価にあたるものは実施されておらず、必要に応じ戦略目標に対する評価が実施されている。本節では、ヨルダンの戦略目標であった「水資源管理向上」に対する評価の事例を紹介する。

(1) 評価の名称・対象国・報告書の発行年

水資源利用向上の戦略目標（SO）の評価，ヨルダン，2002 年

(2) 評価の枠組み

1) 評価の背景と目的

2002 年の年次報告を検討した結果、USAID 在外事務所は「ヨルダン・戦略目標 2：水資源管理向上」を見直し、新たに 5 年間の戦略を作成するように本部から要請された。SO2 にむけての取り組みでは目的達成のため、供給面からの取り組み強化を目指しており、具体的には、3 つの中間目標（IR）～IR2.1 水セクターの制度強化、IR2.2 の水資源利用効率の向上、IR2.3 排水の質の向上～に基づいたプログラムを実施していた。戦略目標に対するこれら IR（中間目標）と活動および指標については次々ページの表“Intermediate Results for Strategic Objective 2 （1997–2002）”のとおりである。

2) 評価項目

1995 年から 2002 年までに実施された活動の IR に対する寄与および戦略目標の妥当性を評価するため、以下のような項目が分析された。

- 2002 年時点で SO2 に妥当性があるか
- 戦略目標を達成したか、計画された受益者や地域に成果が届いたか
- 必要とされる地域を全てカバーしていたか
- 活動（プロジェクト）の組み合わせが適切だったかどうか
- 各活動は効率的であったか（考えられる代替手段と比較して最も効率的だったか、ドナー間の協調による援助の重複は避けられていたか）
- 当該セクターへの援助事業全体との間にギャップはなかったか

3) 評価調査団の構成

3 人の技術者と 1 人の地理学者からなるコンサルタントチームが 38 日間ヨルダンに派遣されて調査を行なった。

(3) 評価結果

評価結果の要約を以下に示す。また、3 章でも述べたとおり、事業の結果については業績測定のシステムの中でカバーされていることも一因であろうが、調査報告書は戦略目標に基づく活動実績に対する評価というよりは、社会経済学的調査、制度・政策枠組み、水資源の現状、水資源の需要と供給というヨルダンの現状を調査し、次期戦略目標および協力の構成に関する情報と提案を提示することに重点がおかれている。

1) SO2 の評価

近年ヨルダンでは急激な人口増加に加え、近隣国からの難民・移民の流入により水需要

が急激に増加しており、需給バランスが急激に悪化している。しかしながら河川・貯水池等の基礎的な水源はほぼ開発し尽くされており、枯渇のおそれが生じているほか、既存の貯水池・給排水施設の改善を進めてもカバーできない水準まで需要が伸びることが予測されるなど、水源開発の必要性が以前より高まっている。このためSO2プログラムは、全体として水資源の保全と排水の再利用についての取り組みを中心としており、SO2および3つのIRを次期も継続すべきだが、SO2の文言は「(既存の) 水資源管理の改善」から「持続的な水資源の活用に向けた水セクターの改革」と、より持続性を強調したものに修正する必要性を指摘している。

具体的には、現状のSO2の重点が「制度改革」と「水資源の保全・排水処理インフラの整備」に置かれているのに対して、今後は水セクターの「技術的・財務的な持続性」を強調すべきであるとしている。すなわち、技術的な持続性に関しては現在焦点が置かれている「開発済みの水資源の保全」から、「河川・地下水源等（未開発の）水資源の保全」に戦略的な焦点を広げるべきであること、財務的な持続性に関してはこれまで進めてきた水セクターの既存組織内の一部改編にとどまらず、組織自体の転換を含めた水事業の自立的な運営体制を構築することが重要であると指摘している。

これは現在水セクター、特に灌漑用水の歳入不足が深刻になっていること、それにもかかわらず官僚的・非効率的な組織・事業運営による高コスト構造が存在しているため、水資源開発・管理体制の強化に向けた活動を本格化できないことが背景にある。今後は組織全体の転換を含めた改革を進めることで水供給の自律的な事業を確立しない限り、その他の水資源の開発(新規のインフラ建設、施設改修等)も本格化できないとしている。

今後5年間のSO2で強化すべきコンポーネントはIR2.1水セクターの制度強化、特に計画・モニタリング部門、財務基盤の強化を強調すべきと指摘している。これまでIR.2.1で進めてきたプログラムはITの導入、BOT等民間資本の導入によるプロジェクト実施等があるが、依然として法的・社会的な障壁、予算上の制約等が存在する。そこで今後は技術的・財務的な持続性を確立するための取り組みが必要であり、具体的には下部組織であるWAJ （Water Authority of Jordan）やJVA（Jordan Valley Authority）の独立事業組織化（水の卸売事業の運営、維持管理を独立採算で進める事業体）とそのためのMWIの組織改革等が提案されている。

2) 個別の活動評価

その他の活動評価では、プロジェクトが単位あたり最小コストで最大の効果を挙げたことを指摘しており、受益者である都市部の住民・地方農民に対してサービスを届けることができたとしている。一方で地域格差の発生が課題として指摘されており、今後は他の地域でも展開すべき、具体的には「難民キャンプ等貧困地域向けに小規模プロジェクトを実施し、他ドナーの参画を促すような取り組みを実施すべき」と指摘している。

Intermediate Results for Strategic Objective 2 (1997–2002)

Intermediate Result	Activities	Activities Performance Indicators
1 - Stronger Water Sector Institutions This result will strengthen the capability of the MWI and its two executing entities, WAJ and JVA, to plan, monitor, implement, and sustain activities in the water sector.	-A water policy implementation program focused on reducing groundwater depletion and optimizing the reuse of treated wastewater. -A technical assistance (TA) program that aims tostrengthen the government's ability to develop, contract, and manage major infrastructure projects and promote Private Sector Participation (PSP) arrangements. -A TA program that will design and implement an automated accrual-based accounting system for JVA. In addition, TA was provided to help JVA in its strategic planning process. -A nationwide water education and public information program that aims to expand public education on the water shortage situation in Jordan and ways in which individuals and public- and private-sector institutions can conserve and more effectively manage scarce water resources. -A two-year program to provide action-oriented, short term technical and managerial training courses to Ministry staff to improve technical skills. -A TA program for WAJ/MWI to restructure their financial activities and wastewater reuse implementation.	-Index of Water Policy Implementation -Index of Management Improvements -Index of Private-Sector Participation and Cost Recovery
2 - Increased Efficiency in Use of Water Resources This result aims at promoting efficient use of existing water resources.	-Rehabilitation of 10 springs and wells. -Rehabilitation and restructuring of the water network of16 zones in Amman, thus considerably reducing unaccounted-for water. -Improvement to the Zai water treatment plant that provides water to 40% of Amman residents. -Funding four Irrigation Advisory Service personnel for the JVA to train farmers in more efficient irrigation methods. -Funding a new improved on-farm irrigation water use efficiency program and watershed management project. -The Ma'in water treatment and pipeline project.	-Water systems rehabilitation and/or construction
3 - Improved Quality of Wastewater In a water-scarce country such as Jordan, treated wastewater is reclaimed water, an important supply of irrigation water, and in the future it can serveas a substitute for freshwater used in agriculture and industry.	-Design and construction of wastewater treatment facilities at Wadi Mousa. -Expansion of the wastewater treatment facilities in Aqaba. -Design of wastewater facilities in the North Jordan Valley. -Financing the construction of a new wastewater treatment plant to replace As Samra on a BOT basis with a USAID grant component -Expansion of the wastewater treatment facilities in Mafraq.	-Wastewater treatment systems design and construction

有識者レビュー

ＪＩＣＡ総合分析『国別事業評価』コメントとレビュー

05Feb22

神戸大学大学院国際協力研究科　教授　上野　宏

Ａ．全体：

全体として良くまとまっています。ご苦労様でした。特に (a) 第４章で TOR 骨子（案）まで踏み込み、目次案まで踏み込んで、内容をつめたことは、すばらしい貢献だと思います。通常のこの手の報告はＴＯＲや目次まで、入り込みませんから。さらに、（ｂ）第３章と補論で、各二国間援助機関および国際機関の方針を、細かにまとめてあることは、客観的（又は、それに近い）資料として非常に重要な、貢献だと思います。（ｃ）非常に comprehensive で、必要な検討項目を全て検討して書かれていると思います。

さりながら、以下のようなコメントがあります。その基本スタンスは優先順位を明らかにする、という方針です。

Ｂ．コメント

以下は全て第４章に関するコメントです。

4-1、4-2 について

第１に重要なことは、「評価は実用を目指す。一般普遍を目指す学問的作業ではない。従って評価において、Result が最も重要である。Result で全てを評価すること。RBM を達成することを目的とする。」「そのためには、ルーティンで行う実績評価のほうが、時々深く行うプログラム評価より重要である。」という宣言です。

第 2 に重要なことは「国別事業実施計画とさらに同計画を具体化する事業に至るまでの実効的な政策体系が存在し（ない）」に関わることです。即ち、「国別事業実施計画を一つひとつ策定し、それらの中に必ず実績（performance）測定指標を書き込むこと」が重要です。これは、logical framework 表を作ることと同じです。これ無くしては、広い業績評価も深いプログラム評価も成立しません。即ち、目的、道具、コスト、活動、産出（output）、成果（成果）、測定法、等を明確に規定する必要があります。勿論、「これらは、最終版である必要はなく、気軽に随時改訂していくべし」というスタンスも重要です。

以上を実施するためには、「国別事業評価における評価測定指標は、なるべく簡便であること。複雑で、時間を使い、費用もかかる方法は望ましくない。業績評価の反対である深い program 評価は、本当に必要なときのみに行う」という明確なスタンスが必要でしょう。

さらに、「評価結果はその国別事業計画の改変、縮小、拡大とリンクしている」べきです。これが無いと、各国別事業部による事後評価を行うインセンティブが無くなり、「何のためにこんな評価をするのか」という批判が必ず起こります。リンクしていれば、各国担当部署は必死に事後評価をします。そして、計画書が少しづつ改善されます。一気に改善しよ

うとしないこと。

また、「常設の国別事業レビュー委員会を設置し、上記の国別業績評価書又は業績測定結果を定期的にレビューし、国別事業計画の見直し行うことを、随時行う」ことを、いれる必要があるでしょう。委員会は、JICA プラス外部の専門家（大学の先生、優秀なコンサルタントなど）によって、構成されたほうが良いでしょう。

4 章 4-3TOR 骨子について

１．背景、1－2　目的に上記で明らかした国別事業評価の目的･位置付けを明確に記述すること、が必要です。

また、３－１　理解すべき概念、1）アウトカムの明確な区分は良い提言です。さらに、「上記提言２において、開発アウトカム用の log frame と組織レベルアウトカムの log frame の二種類の log frames を用意すべし」と言う必要があります。

また、５．目次案に記載のある「４．JICA 事業の概要と当該国の開発における位置づけ」はとても重要です。強調してください。加えて、「６．開発効果への JICA 事業の貢献」と、「７．提言」の間に「他国・他ドナーの活動で特筆すべきこと」を、入れた方が良いでしょう。もしかすると、役に立つアイディアが、彼らの中にあるかもしれませんから。 従って、現在の７は８となります。

総合分析「国別事業評価」について

立命館アジア太平洋大学大学院
アジア太平洋研究科
三好皓一

本報告書は、JICA の実施した国別評価の国別評価に関して包括的に議論を行い今後の国別評価の方向性を提示しており興味深いものである。このような方向性を促進するという観点に立ち以下の 3 点についてコメントする。

1　プログラム評価としての国別評価

国別評価は、基本的にプログラム評価に区分されるものである。プログラム評価は、個別プロジェクトの評価とは異なり、評価対象である政策体系における目的としての成果（アウトカム）を基点として考察・分析が行われる。個別プロジェクトの評価では評価対象であるプロジェクトが固有に作り出す手段としての結果（アウトプット）を基点としてアウトカムへの影響に対して焦点が当てられるが、プログラム評価では、アウトカムを基点とすることによって、アウトカムの達成状況ともに成果を達成するためのプロジェクトの選択のあり方、組み合わせの仕方、資金の配分などを考察・分析することが重要となる。すなわち、評価対象を複数のプロジェクトからなるプログラムとして捉えて評価を行うことになる。このような傾向は、援助機関のアウトカムを重視する傾向とともに、アウトカムの達成は、単独のプロジェクトでは、また、単独の援助機関の支援では達成することが難しいことを認識することによって強くなる。本報告書では、各援助機関の国別評価の方法について考察をしているが、国別評価がアウトカムを重視しプログラム評価としての特質が強くなるに従い、このような傾向が強くなることが読み取れる。その結果として、帰属から寄与への発想の転換、合同評価の促進、また、案件選択戦略のプロセスが国別評価で重視されるようになったと考えられる。本報告書は、このような評価の傾向を踏まえ、プログラム評価としての国別評価の実施方法について方向性を示すものであり、今後の議論に有益な示唆を提示している。

2　国別評価の対象の明確化について

評価では、評価対象を概念化し明確にすることによって評価が可能となる。それゆえ国別評価の評価可能性は、対象である国別援助の目的と手段の連鎖としての政策体系がどれだけ明確になっているかに依存する。このことは JICA の国別評価にも当てはまる。JICA の国別評価の実施は、JICA の国別援助の政策体系がどれだけ明確化されているかに依存することになる。第 2 章「JICA の国別事業評価の現状と課題」の記述はこのような状況を反映したものとなっている。近年 JICA では国別、課題別アプローチを導入しプログラム・アプローチへの転換を図っており、その一環として国別事業計画の策定を行うなど政策体系の明確化を進めているが、いまだ必ずしも政策体系が明確になっているわけではない。国別計画は課題ごとに関連プロジェクトを区分し記載したものとなっているのが実態である。本報告書で考察の対象となっている 8 件の国別評価でも、対象国で実施した複数のプロジェクトを内包する明確な政策体系がない状況で評価が実施されている。それゆえに、各評価は評価対象をどのように把握するかに苦労をしている。8 件の評価はこのような困難性を反映して、主に個別プロジェクト評価を積み上げ、総合化（Synthesize）したものとなっている。それなりの知見を提供するが、国別援助の政策体系を対象としたプログラム評価には必ずしもなってはいない。結果として、プロジェクトの選択のあり方、組み合わせの仕方、資金の配分などについての十分な評価が行われてはいない。本報告書は、このような点を考察して指摘しており興味深いものとなっている。これらの国別評価の実施は、SWAP、PRSP などの新たな援助協調の枠組みの導入、また、資金のプール化（コモン・ファンド）、財政支援、技術協力のアンタイド化などの議論が進展する中で JICA が事業の実施方法を模索している時期と一致している。このような状況が国別評価の実施の背景になっており、また。評価自体がこ

のような文脈で実施されなければならなかったが、必ずしもこのような状況への認識が関係者間で共有されていなかった点が、国別評価に反映したと考えられる。また、問題意識が先行するが、報告書が指摘するように方法論自体が確立していなかったことにもよると考えられる。本報告書は、このような状況を記述しており、国別評価の現状をと課題を明らかにすることに役立っている。

3　国別アプローチへの橋渡しとしての国別評価

本来、国別評価はプログラム・アプローチとしての国別アプローチと表裏一体をなすものである。しかし、プログラム・アプローチが確立してないからといって、評価を実施しないことにはならない。プログラム・アプローチへの示唆を得るために評価を実施することはそれなりに意義がある。本報告書では、国別評価の実施により、国別アプローチの展開のための課題を抽出している。また、プログラム概念の明確化への示唆を抽出している。このことから、国別評価の実施が国別アプローチの進展、また、国別の援助の政策体系の明確化に有効であることを改めて認識することができる。他方、近年、本報告書でも指摘されているように開発途上国自体によってその政策体系の明確化が進んできている。また、援助協調の進展もあり、援助機関においても現地への権限の移譲が進められている。JICA も在外事務所の強化の一環としてこのような傾向を促進している。そのような環境では、国別評価も変質する。従来のヘビーな国別評価から在外事務所によって継続的に実施することができるライトな国別評価、特に優先課題に対するプログラム評価を継続的に行なうことによって国別の政策体系を改善していくような評価が求められるようになると考えられる。その際、特に各援助機関との役割分担を重視することによって、より有効な案件の選択、組み合わせについての評価が可能になる。このような評価は、国別アプローチを強化するものであり、国別評価の国別アプローチへの橋渡しとしての役割を認識することが重要と考える。本報告書はこのような方向性に示唆を与えるものである。また、このような評価を通じて、優先課題の援助のあり方についての議論も深められ得る。

添　付　資　料

１．JICA 職員向けアンケート表

①過去の国別事業評価対象国関係地域部・在外事務所用

②過去の国別事業評価の対象となっていない国に係る地域部・在外事務所用

２．二国間援助国・国際機関向けアンケート票

３．二国間援助国・国際機関インタビュー調査日程・面談者リスト

４．参考文献リスト

（過去の国別事業評価対象国関係地域部・在外事務所用）

国別事業評価に関する関係者アンケート

担当国・任国：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

所属部署名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　記入者氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

回答要領：担当国・任国に係る国別事業評価につきご意見をお聞かせ願います。以下の各質問項目についてお答え下さい。選択式回答の場合は、該当する選択肢に○を付け、記述式回答の場合には簡潔に理由をご記入ください。

問１．　これまでの国別事業評価について

（１）国別事業評価の認知度

国別事業評価を知っていますか?

（　）　a.　知らない。　→　a. と答えた方は今後の活用につきご意見をお聞かせ下さい（問２へ）

（　）　b.　知っている。→　b. と答えた方は以下の（２）の質問にお答え下さい。

（２）　国別事業評価の活用

国別事業評価報告書を執務の資料として活用していますか？

（　）a.　活用しなかった。　→　a.　と答えた方は　（３）の質問にお答え下さい。

（　）b.　活用した。　→　b. と答えた方は以下の(ア)と（イ）の質問にお答え下さい。

（ア）具体的に報告書のどの内容が参考になりましたか？（複数回答可）

（　）a. 社会開発の推移と現状（マクロ経済社会分析、政府の開発事業、主要ドナーの援助動向など）

（　）b. 個別案件評価（概況、開発課題とその達成状況、妥当性評価）

（　）c. 分野別評価

（　）d. セクター・課題別評価

（　）e. 総合評価（全体に関する評価）

（　）f. 今後の協力の改善のための提言・教訓

（　）g. その他　（　　）

（イ）具体的にどのような業務に活用しましたか？（複数回答可）

（　）a. 国別事業実施計画の策定・改訂　→a.　と答えた方は以下の①の質問にお答え下さい。

（　）b. 特定分野の協力プログラムの立案・改訂

（　）c. プロジェクト形成調査

（　）d. 要望調査

（　）e. その他　（　　）

→（イ）で a. を選択した方のみお答え下さい。

①. 具体的にどのような項目に活用しましたか？（複数回答可）

（　）a. JICA の協力の基本的な考え方

（　）b. 開発課題

（　）c. JICA の協力プログラム

（　）d. JICA の協力個別案件

（　）e. JICA 協力上の留意点

（　）f. その他　（　　）

（３）国別事業評価が参考にならなかった理由

国別事業評価報告書が参考にならなかった理由についてお答え下さい？（複数回答可）

（　）a. 報告書発行のタイミングが合わなかった。

（　）b. 評価の対象範囲が実際の業務に整合していない。

（　）c. 情報のまとめ方が適切でない。

（　）d. その他

（具体的に：　　）

（４）特に過去の国別事業評価の実施に直接携わった方におたずねします。

過去の国別事業評価の実施において改善すべき点や、その他お気付きの点があればお書きください。

問２．　今後の国別事業評価に望むこと

（１）　国別事業評価の活用時期

国別事業評価についてどのタイミングで活用したいですか?（複数回答可）

（　）a. 国別事業実施計画の策定・改訂時

（　）b. 要望調査・案件選定時

（　）c. プロジェクト形成調査時

（　）d. その他　（　　）

（2）　国別事業評価の内容

国別事業評価にどのような内容を期待しますか?　（複数回答可）

（　）a. 国別事業実施計画の策定に資する情報　→　以下の（ア）の質問にお答え下さい。

（　）b. 要望調査検討・案件選定に資する情報　→　以下の（イ）の質問にお答え下さい。

（　）c. 特定分野への協力プログラムの立案・改定に資する情報　→ 以下の（ウ）の質問にお答え下さい。

（　）d. プロジェクト形成調査に資する情報

（　）e. その他　（　　）

→（2）でa.を選択した方のみお答え下さい。

（ア）具体的にどのような内容ですか？（複数回答可）

（　）a. JICAの協力の基本的な考え方

（　）b. 開発課題

（　）c. JICAの協力プログラム

（　）d. JICAの協力個別案件

（　）e. JICA協力上の留意点

（　）f. その他　（　　）

→（2）でb.を選択した方のみお答え下さい。

（イ）具体的にどのような内容ですか？（複数回答可）

（　）a. 過去の経験に基づくプログラムの適切さ

（　）b. 過去の経験に基づくプロジェクトの適切さ

（　）c. その他　（　　）

→（2）でc.を選択した方のみお答え下さい。

（ウ）具体的にどのような内容ですか？（複数回答可）

（　）a. プログラム、開発課題との整合性

（　）b. プログラムの組み立て・内容の適切さ

（　）c. その他　（　　）

問3.　今後の国別事業評価の実施方法

（1）　国別事業評価の実施方法

国別事業評価の実施はどのような方法が望まれますか?

（　）a. 従来型：毎年1～2ヵ国を選定し、対象期間10～15年の個別案件を総合的に評価するもの

（　）b. 簡易型：国別事業実施計画の改定に合わせて、そのフィードバックを目的とするもの

（　）c. 従来型と簡易型の併用型

（　）d. その他　（　　）

（2） 具体的な手法　以下の設問については、上記(1)で従来型を選んだ方は従来型の回答欄へ、簡易型を選んだ方は簡易型の回答欄へ、併用を選んだ方はそれぞれの設問に対して、従来型、簡易型双方の回答欄へ○をつけてください。また、その他を選んだ方はその他の回答欄に○をつけて下さい。

	従来型	簡易型	その他
（ア） 実施主体はどこが実施することが適当ですか？ a. 評価監理室	（　）	（　）	（　）
b. 地域部	（　）	（　）	（　）
c. 在外事務所	（　）	（　）	（　）
→ 具体的に　重点推進事務所（30ヵ国）	（　）	（　）	（　）
要望があった事務所	（　）	（　）	（　）
その他　（　　）	（　）	（　）	（　）
d. 評価監理室、地域部、在外事務所が各々内容に応じて分担	（　）	（　）	（　）
e. その他（具体的に；　　）	（　）	（　）	（　）
（イ）対象国としてどこが適当ですか？ a. 国別事業実施計画・協力プログラムの策定あるいは見直しを行う国	（　）	（　）	（　）
b. 国別援助計画等協力方針の見直し、改定の予定のある国（政策協議、CG 実施国等）	（　）	（　）	（　）
c. 援助量の大きな国	（　）	（　）	（　）
d. 特定課題への協力（移行経済、平和構築等）あるいは、協力方法（援助協調、財政支援等）に関して先行事例となるような国	（　）	（　）	（　）
e. その他　（具体的に；　　）	（　）	（　）	（　）
（ウ） 国別事業評価の対象期間はどのぐらいが適当ですか？ a. 10 年程度	（　）	（　）	（　）
b. 国別事業実施計画のサイクルにあわせ 3～5 年程度	（　）	（　）	（　）
c. なんらかの形で毎年	（　）	（　）	（　）
d. その他　（具体的に；　　）	（　）	（　）	（　）

	従来型	簡易型	その他
（エ） 国別事業評価としてどのレベルの効果に対象をおくべきですか？ （複数回答可）			
a. 国レベル（当該国に対するJICAの協力のすべて）	（ ）	（ ）	（ ）
b. 分野レベル	（ ）	（ ）	（ ）
c. 開発課題レベル	（ ）	（ ）	（ ）
d. プログラムレベル	（ ）	（ ）	（ ）
e. 個別案件レベル	（ ）	（ ）	（ ）
f. その他 （具体的に； ）	（ ）	（ ）	（ ）
（オ） 上記エ）でb.～f.を選ばれた方：選択したレベルにおいて対象とすべきものはどのようなものが適当ですか？（複数回答可）			
→ 分野レベル すべて	（ ）	（ ）	（ ）
選択的	（ ）	（ ）	（ ）
→ 開発課題レベル すべて	（ ）	（ ）	（ ）
選択的	（ ）	（ ）	（ ）
→ プログラムレベル すべて	（ ）	（ ）	（ ）
選択的	（ ）	（ ）	（ ）
→ 個別案件レベル すべて	（ ）	（ ）	（ ）
選択的	（ ）	（ ）	（ ）
不要	（ ）	（ ）	（ ）
→ その他 すべて	（ ）	（ ）	（ ）
選択的	（ ）	（ ）	（ ）
（カ） どのような項目を対象としますか？（複数回答可）			
→ 国レベル： 妥当性	（ ）	（ ）	（ ）
有効性	（ ）	（ ）	（ ）
効率性	（ ）	（ ）	（ ）
インパクト	（ ）	（ ）	（ ）
自立発展性	（ ）	（ ）	（ ）
貢献・阻害要因	（ ）	（ ）	（ ）
提言・教訓	（ ）	（ ）	（ ）
→ 分野レベル： 妥当性	（ ）	（ ）	（ ）
有効性	（ ）	（ ）	（ ）
効率性	（ ）	（ ）	（ ）
インパクト	（ ）	（ ）	（ ）
自立発展性	（ ）	（ ）	（ ）
貢献・阻害要因	（ ）	（ ）	（ ）
提言・教訓	（ ）	（ ）	（ ）

		従来型	簡易型	その他
→ 開発課題レベル：	妥当性	(　)	(　)	(　)
	有効性	(　)	(　)	(　)
	効率性	(　)	(　)	(　)
	インパクト	(　)	(　)	(　)
	自立発展性	(　)	(　)	(　)
	貢献・阻害要因	(　)	(　)	(　)
	提言・教訓	(　)	(　)	(　)
→ プログラムレベル：	妥当性	(　)	(　)	(　)
	有効性	(　)	(　)	(　)
	効率性	(　)	(　)	(　)
	インパクト	(　)	(　)	(　)
	自立発展性	(　)	(　)	(　)
	貢献・阻害要因	(　)	(　)	(　)
	提言・教訓	(　)	(　)	(　)
→ 個別案件レベル：	妥当性	(　)	(　)	(　)
	有効性	(　)	(　)	(　)
	効率性	(　)	(　)	(　)
	インパクト	(　)	(　)	(　)
	自立発展性	(　)	(　)	(　)
	貢献・阻害要因	(　)	(　)	(　)
	提言・教訓	(　)	(　)	(　)
→ その他：	妥当性	(　)	(　)	(　)
	有効性	(　)	(　)	(　)
	効率性	(　)	(　)	(　)
	インパクト	(　)	(　)	(　)
	自立発展性	(　)	(　)	(　)
	貢献・阻害要因	(　)	(　)	(　)
	提言・教訓	(　)	(　)	(　)

以下の設問（３）と（４）については問３の（１）で簡易型を選択した方（併用型含む）のみお答えください。

（３）簡易型の国別評価を行った場合、その効果の測定につきどのような評価方法が適当ですか？

（　）a. インパクトを定量的に測定する評価

（　）b. 開発課題に対する貢献を定性的に測定する評価

（　）c. 目標の定期的なレビュー（パフォーマンス・モニタリング型）

（　）d. その他　（　　）

（4）特定課題に対する協力の効果を定性的に評価する場合、どのレベルで評価することが適当ですか？

（ ）a. JICAの協力の効果

（ ）b. 日本全体としての効果

（ ）c. 他ドナー等との援助協調の結果としての効果

（ ）d. その他　（　　）

→　なぜ、そのように思われますか？理由をお聞かせ下さい。

この設問についてはすべての方がお答えください。

（5）国別事業評価での合同評価についてどう思いますか？

（ ）a. 積極的に合同評価をすべきである。→　a. と答えた方は（ア）の質問にお答え下さい。

（ ）b. 合同評価は行わず、JICA単独で評価すべきである。

→　b. と答えた方はなぜ、そのように思われますか？理由をお聞かせ下さい。

（ア）具体的に、どこと合同評価すべきですか？（複数回答可）

（ ）a.　日本　外務省

（ ）b.　JBIC

（ ）c.　NGO機関

（ ）d.　相手国

（ ）e.　他ドナー　→　具体的に：（　　）

（ ）f.　その他　（　　）

→　なぜ、そのように思われますか？理由をお聞かせ下さい。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

（過去の国別事業評価の対象となっていない国に係る地域部・在外事務所用）

国別事業評価に関する関係者アンケート

担当国・任国：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

所属部署名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　記入者氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

回答要領：今後、貴職の担当国・任国について国別事業評価を行うとした場合のご意見をお聞かせ下さい。以下の各質問項目についてお答え下さい。選択式回答の場合は、該当する選択肢に○を付け、記述式回答の場合には簡潔に理由をご記入ください。

問１．　国別事業評価の認知度

国別事業評価を知っていますか?

（　）　a. 知らない。　　（　）　b. 知っている。

問２．　今後の国別事業評価に望むこと

（１）　国別事業評価の活用時期

国別事業評価についてどのタイミングで活用したいですか?（複数回答可）

（　）a. 国別事業実施計画の策定・改訂時

（　）b. 要望調査・案件選定時

（　）c. プロジェクト形成調査時

（　）d. その他　（　　）

（２）　国別事業評価の内容

国別事業評価にどのような内容を期待しますか?　（複数回答可）

（　）a. 国別事業実施計画の策定に資する情報　→　以下の（ア）の質問にお答え下さい。

（　）b. 要望調査検討・案件選定に資する情報　→　以下の（イ）の質問にお答え下さい。

（　）c. 特定分野への協力プログラムの立案・改定に資する情報　→ 以下の（ウ）の質問にお答え下さい。

（　）d. プロジェクト形成調査に資する情報

（　）e. その他　（　　）

→（２）で a. を選択した方のみお答え下さい。

（ア）具体的にどのような内容ですか？（複数回答可）

（　）a. JICA の協力の基本的な考え方

（　）b. 開発課題

（　）c. JICA の協力プログラム

（　）d. JICA の協力個別案件

（　）e. JICA 協力上の留意点

（　）f. その他　（　　）

→（2）でb.を選択した方のみお答え下さい。

（イ）具体的にどのような内容ですか？（複数回答可）

（ ）a. 過去の経験に基づくプログラムの適切さ

（ ）b. 過去の経験に基づくプロジェクトの適切さ

（ ）c. その他　（　　）

→（2）でc.を選択した方のみお答え下さい。

（ウ）具体的にどのような内容ですか？（複数回答可）

（ ）a. プログラム、開発課題との整合性

（ ）b. プログラムの組み立て・内容の適切さ

（ ）c. その他　（　　）

問3．今後の国別事業評価の実施方法

（1）　国別事業評価の実施方法

国別事業評価の実施はどのような方法が望まれますか?

（ ）a. 従来型：毎年1～2ヵ国を選定し、対象期間10～15年の個別案件を総合的に評価するもの

（ ）b. 簡易型：国別事業実施計画の改定に合わせて、そのフィードバックを目的とするもの

（ ）c. 従来型と簡易型の併用型

（ ）d. その他　（　　）

（2）　具体的な手法　以下の設問については、上記(1)で従来型を選んだ方は従来型の回答欄へ、簡易型を選んだ方は簡易型の回答欄へ、併用を選んだ方はそれぞれの設問に対して、従来型、簡易型双方の回答欄へ○をつけてください。また、その他を選んだ方はその他の回答欄に○をつけて下さい。

	従来型	簡易型	その他
（ア）実施主体はどこが実施することが適当ですか？ a. 評価監理室	（　）	（　）	（　）
b. 地域部	（　）	（　）	（　）
c. 在外事務所	（　）	（　）	（　）
→ 具体的に　重点推進事務所（30ヵ国）	（　）	（　）	（　）
要望があった事務所	（　）	（　）	（　）
その他　（　　）	（　）	（　）	（　）
d. 評価監理室、地域部、在外事務所が各々内容に応じて分担	（　）	（　）	（　）
e. その他（具体的に；　　）	（　）	（　）	（　）

	従来型	簡易型	その他
（イ）対象国としてどこが適当ですか？ a. 国別事業実施計画・協力プログラムの策定あるいは見直しを行う国	（　）	（　）	（　）
b. 国別援助計画等協力方針の見直し、改定の予定のある国（政策協議、CG 実施国等）	（　）	（　）	（　）
c. 援助量の大きな国	（　）	（　）	（　）
d. 特定課題への協力（移行経済、平和構築等）あるいは、協力方法（援助協調、財政支援等）に関して先行事例となるような国	（　）	（　）	（　）
e. その他　（具体的に；　　）	（　）	（　）	（　）
（ウ）国別事業評価の対象期間はどのぐらいが適当ですか？ a. 10 年程度	（　）	（　）	（　）
b. 国別事業実施計画のサイクルにあわせ 3～5 年程度	（　）	（　）	（　）
c. なんらかの形で毎年	（　）	（　）	（　）
d. その他　（具体的に；　　）	（　）	（　）	（　）
（エ）国別事業評価としてどのレベルの効果に対象をおくべきですか？　（複数回答可） a. 国レベル（当該国に対する JICA の協力のすべて）	（　）	（　）	（　）
b. 分野レベル	（　）	（　）	（　）
c. 開発課題レベル	（　）	（　）	（　）
d. プログラムレベル	（　）	（　）	（　）
e. 個別案件レベル	（　）	（　）	（　）
f. その他　（具体的に；　　）	（　）	（　）	（　）
（オ）上記エ）で b. ～f. を選ばれた方：選択したレベルにおいて対象とすべきものはどのようなものが適当ですか？（複数回答可） → 分野レベル　すべて	（　）	（　）	（　）
選択的	（　）	（　）	（　）
→ 開発課題レベル　すべて	（　）	（　）	（　）
選択的	（　）	（　）	（　）
→ プログラムレベル　すべて	（　）	（　）	（　）
選択的	（　）	（　）	（　）
→ 個別案件レベル　すべて	（　）	（　）	（　）
選択的	（　）	（　）	（　）
不要	（　）	（　）	（　）

		従来型	簡易型	その他
→ その他	すべて	(　)	(　)	(　)
	選択的	(　)	(　)	(　)
(カ) どのような項目を対象としますか？（複数回答可）				
→ 国レベル：	妥当性	(　)	(　)	(　)
	有効性	(　)	(　)	(　)
	効率性	(　)	(　)	(　)
	インパクト	(　)	(　)	(　)
	自立発展性	(　)	(　)	(　)
	貢献・阻害要因	(　)	(　)	(　)
	提言・教訓	(　)	(　)	(　)
→ 分野レベル：	妥当性	(　)	(　)	(　)
	有効性	(　)	(　)	(　)
	効率性	(　)	(　)	(　)
	インパクト	(　)	(　)	(　)
	自立発展性	(　)	(　)	(　)
	貢献・阻害要因	(　)	(　)	(　)
	提言・教訓	(　)	(　)	(　)
→ 開発課題レベル：	妥当性	(　)	(　)	(　)
	有効性	(　)	(　)	(　)
	効率性	(　)	(　)	(　)
	インパクト	(　)	(　)	(　)
	自立発展性	(　)	(　)	(　)
	貢献・阻害要因	(　)	(　)	(　)
	提言・教訓	(　)	(　)	(　)
→ プログラムレベル：	妥当性	(　)	(　)	(　)
	有効性	(　)	(　)	(　)
	効率性	(　)	(　)	(　)
	インパクト	(　)	(　)	(　)
	自立発展性	(　)	(　)	(　)
	貢献・阻害要因	(　)	(　)	(　)
	提言・教訓	(　)	(　)	(　)

		従来型	簡易型	その他
→ 個別案件レベル：	妥当性	(　)	(　)	(　)
	有効性	(　)	(　)	(　)
	効率性	(　)	(　)	(　)
	インパクト	(　)	(　)	(　)
	自立発展性	(　)	(　)	(　)
	貢献・阻害要因	(　)	(　)	(　)
	提言・教訓	(　)	(　)	(　)
→ その他：	妥当性	(　)	(　)	(　)
	有効性	(　)	(　)	(　)
	効率性	(　)	(　)	(　)
	インパクト	(　)	(　)	(　)
	自立発展性	(　)	(　)	(　)
	貢献・阻害要因	(　)	(　)	(　)
	提言・教訓	(　)	(　)	(　)

以下の設問（3）と（4）については問3の（1）で簡易型を選択した方（併用型含む）のみお答えください。

（3）簡易型の国別評価を行った場合、その効果の測定につきどのような評価方法が適当ですか？

（　）a. インパクトを定量的に測定する評価

（　）b. 開発課題に対する貢献を定性的に測定する評価

（　）c. 目標の定期的なレビュー（パフォーマンス・モニタリング型）

（　）d. その他　（　　）

（4）特定課題に対する協力の効果を定性的に評価する場合、どのレベルで評価することが適当ですか？

（　）a. JICA の協力の効果

（　）b. 日本全体としての効果

（　）c. 他ドナー等との援助協調の結果としての効果

（　）d. その他　（　　）

→ なぜ、そのように思われますか？理由をお聞かせ下さい。

この設問についてはすべての方がお答えください。

（５）国別事業評価での合同評価についてどう思いますか？

（　）a. 積極的に合同評価をすべきである。→　a. と答えた方は（ア）の質問にお答え下さい。

（　）b. 合同評価は行わず、JICA 単独で評価すべきである。

→　b. と答えた方はなぜ、そのように思われますか？理由をお聞かせ下さい。

（ア）具体的に、どこと合同評価すべきですか？（複数回答可）

（　）a.　日本　外務省

（　）b.　JBIC

（　）c.　NGO 機関

（　）d.　相手国

（　）e.　他ドナー　→　具体的に：（　　）

（　）f.　その他　（　　）

→　なぜ、そのように思われますか？理由をお聞かせ下さい。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

Questionnaire on Country Program Evaluation

Please fill in this form and return it to JICA via e-mail by March 5, 2004. JICA will appreciate if you could also provide us with any relevant documents to this survey at the following address:

Goto Testuji
Office of Evaluation, JICA
2-1-1 Yoyogi, Shibuya-ku, Tokyo, JAPAN 151-8558
e-mail Goto.Tetsuji@jica.go.jp
fax 813-5352-5490

This questionnaire consists of two parts; the first part covers the overall situation of CPE and the second part on purpose, approach and methodology of CPE[1].

PART I. Overall Situation

Organization :
Name :
Title :
Unit :
Answer Date:

Q1. Who conducts CPEs?
( ) a. central evaluation unit only.
( ) b. both central evaluation unit and operational unit (HQ operational unit, field office etc.)
Which operational unit? Please specify
( ) c. Other units:
Please specify

Q2. If you choose b or c, what are major differences between CPE conducted by central evaluation unit and CPE conducted by operational unit and/or other units?

[1] Terminology used in "Evaluating Country Programme, Vienna Workshop, 1999" has been our point of reference.

Q3 How many CPEs are conducted every year on average? Please indicate also average budget per CPE.

a. Central evaluation unit (/ US$)

b. Operational unit, if applicable (/ US$)

c. Other units, if applicable (/ US$)

Q4. Please list major CPEs recently conducted by your organization.

a. CPEs conducted by central evaluation unit

[title and year conducted]

1)

2)

3)

b. CPEs conducted by operational unit, if applicable

[title, unit in charge, and year conducted]

1)

2)

3)

c. CPEs conducted by other units, if applicable

[title, unit in charge, and year conducted]

1)

2)

3)

Q5. Have there been any major changes in CPE approach and methods in your organization since Vienna Workshop in 1999?

( ) a. No

( ) b. Yes

Q6. If you have chosen b, please explain.

Q7. Do you expect any major changes in CPE approach and methods in your organization?

( ) a. No

( ) b. Yes

Q8. If you have chosen b, which ones?

PART II. Purpose, Approach and Methodology of CPE

If CPE is conducted not only by central evaluation unit but also by operational unit and/or other units, please provide us with information on each of them, by using this form. In such a case, this form may be filled in by operational unit and/other unit and directly returned to us.

Organization :
Name :
Title :
Unit :
Answer Date:

A. Purpose and Approach

Q1 What is the principal intended use of CPE?

Q2. How do you select the country?
a. Which selection criteria do you use?

b. What is the selection procedure?

Q3. What is the timescale under evaluation?
a. How long is the period that CPE covers? ( ) years
b. What is the timescale of the country program cycle? ( ) years
c. Is the timing of CPE harmonized with country program cycle?
How?

Q4. What is the topical span of CPE? Please check all which apply.
( ) a. Country program performance
( ) b. Country development performance (macro economic, political environment, governance etc.)
( ) c. Donor performance
( ) d. Other
Please specify

Q5. Which elements of the Country Program do you examine ? Please check all which apply.
( ) a. Individual projects
( ) All
( ) Part
What is the selection criteria?

( ) Other

Please explain.

( ) b. Individual programs

( ) All

( ) Part

What is the selection criteria?

( ) Other

Please explain.

( ) c. Sector/theme

( ) All

( ) Part

What is the selection criteria?

( ) Other

Please explain.

( ) d. Other

Please specify.

Q6. On which aspects (results, strategy etc.) do you focus when examining the above?

a. Individual projects

b. Individual programs

c. Sector/thematic programs

d. Other

Q7. Which evaluation criteria do you use in CPE? Please check all which apply.

( ) a. Relevance

( ) b. Effectiveness

( ) c. Efficiency

( ) d. Impact

( ) e. Sustainability

( ) f. Other

Please specify.

B. Methodology

Q8. How do you evaluate the program performance? Please check all which apply.

( ) a. Evaluate against performance indicators set

( ) b. Other

Please explain

Q9 If you choose a, which indicators do you use, generally? Please check all which apply

( ) a. Use development indicators only

( ) b Use also other performance indicators

Please specify.

Q10. What is the nature of development indicators used?

( ) a. Using common indicators such as those related to MDGs or PRSP

( ) b. Using customized indicators agreed with partner countries on case by case basis

( ) c. Other

Please specify.

Q11. If you have chosen b, which of the following elements do you take into consideration? Please check all which apply.

( ) a. Goal and objectives of the program

( ) b. Agency-wide goals of your organization

( ) c. Goal of partner countries in the sector/theme concerned

( ) d. Global goal related to MDGs or PRSP

( ) e. Practicability in measuring indicators (availability, comparability, reliability etc.)

( ) f. Other

Please specify

Q 12. Which tools do you use to summarize program performance? Please check all which apply.

( ) a. Descriptive

( ) b. Econometrics

( ) c. Scale classification

Please give an example

( ) d. Scoring

Please give an example

( ) e. Other

Please explain

Q 13. How do you evaluate the program impact ?

a. Which concept do you use in practice in analyzing the program impact?

( ) attribution

( ) contribution

( ) Other

Please explain

b. Which analytical methods do you usually use? Please check all which apply.

( ) quantitative

( ) qualitative

Q 14 Do you use comparators in CPE?

( ) a. No

( ) b. Yes

If you have chosen b., which comparators do you use? Please check all which apply

( ) other countries

( ) Country Programs of other donors in same country

( ) Other

Please specify.

C. Evaluation Feedback

Q15. To whom do you report the results of CPE ? Please check that all apply.

( ) a. Executive board of your organization

( ) b. Operational units concerned

( ) c. Partner country government

( ) d. Other stakeholders in the partner country

( ) e. Domestic policy makers

( ) f. Donors (in the case of multilateral agencies)

( ) g. Other

Please specify

Q16. Are CPE results interested in the on-going/next Country Program? Please check which all apply.

( ) a. Taken into account in decision to pursue or not some elements of the Country Program

( ) b. Directly integrated in

( ) goal/objectives

( ) strategy

( ) design/implementation/monitoring

( ) budget allocation

( ) Other

Please specify.

( ) c. Referred to when reviewing on-going Country Program/formulating new Country Program

( ) d. Referred to when implementing Country Program

( ) e. Other

Please explain.

Q17. If you have chosen a. and/or b., do you have any mandatory procedure in place? What mechanism do you use to ensure that the results are taken into account? Please explain.

D. Other issues

Q18. Who is preparing CPE's Terms of Reference

( ) a. HQ unit

( ) b. Field Office

( ) c. Partner country government

( ) d. Other

Please specify.

Q19. Who are the evaluators? Please check all which apply

( ) a. Staff of your organization

( ) b. Independent consultants

Nationality ( ) International ( )Donor country ( ) Partner country

( ) c. Staff of partner country government

( ) d. Other

Please specify

Q20. Have joint CPEs with other donors ever been conducted in your organization?

( ) Yes ( ) No

Q21. If you have chosen Yes, how many CPEs have been conducted recently ? ( )

Q22. If you have chosen Yes in Q 20., how the countries have been selected. Please explain.

Q23. What are the merits and demerits of joint CPE in terms of their purpose, approach, methodology, and value-added? Please state.

We welcomes any additional comments from which JICA might benefit

Thank you very much for your cooperation. We really appreciate your dedication in filling this questionnaire. We start to compile the results and we hope that your organization will benefit from our findings.

Mission schedule (Final)
Ms. Satoko Miwa, Team Leader (Senior Assistant to the Managing Director)
Ms. Nozomi Iwama, Evaluation Analyst (Senior Evaluation Officer)
Planning and Evaluation Department
April 11-13 (Washington D.C.), April 14 (NYC), April 15 (Ottawa)

Time	Activity/ Meeting	Venue	Contact info/ Notes
Sunday, April 11th, 2004			
10:40	Arrive in Washington (Dulles)		Flight NH-002
Evening	Brief dinner with Mr. Yoneda, Resident Representative of the JICA USA		
Monday, April 12th, 2004			
a.m.	Courtesy call to JICA USA	JICA USA	1776 Eye St. NW Suite 895
10:00	World Bank: Mr. John Underwood, Director, Operational Services, Operations Policy & Country Services, Ms. Poonam Gupta (Sr. Evaluation Officer)	MC 10-561	473-3911
11:15	World Bank: Mr. Chhibber, Director, Operations Evaluation Department	H 3-292 (600 19th St.)	Awaiting response from Ms. Gupta
14:00	USAID: Ms. Susan Wallace, Acting Division Chief, Office of Evaluation Studies and Performance Assessment; Ms. Anne Beasley, Office of Development Information; and representatives from the Bureaus of Europe & Eurasia, Asia and the Near East, Latin America and the Caribbean, and Global Health.	USAID (Ronald Reagan Building, 14th St. entrance)	Ms. Florence Roach 712-4472
16:00	IDB: Mr. Sixto Aquino, Deputy Director of Office of Evaluation and Oversight, Mr. Inder Ruprah and Mr. Jose Juan Gomes (both Economists)	B 740 (1350 NY Ave.)	Assistant Tania Delgado 623-2897/ 623-2510
Tuesday, April 13th, 2004			
10:00	GAO: Ms. Valerie Caracelli, Senior Social Science Analyst, Applied Research and Methods group (to discuss Evaluation Synthesis methodology)	GAO (441 G Street, NW)	Ms. Kate Brentzel Strategic Planning & External Liaison 512-5927
14:30	IDB: Mr. Lionel Nicol, Chief, Development Effectiveness, Office of the Executive Vice President (To discuss country strategy)	SW 1100	Assistant Elizabeth Rodezno 623-1237
17:30	Depart Washington (via National) for NY		Flight DL 1762
18:38	Arrive New York (La Guardia)		
Wednesday, April 14th, 2004			
11:00-12:00	UNDP/Evaluation Office: Ms. Saraswathi Menon (Director), Mr. Ehsan Khaled (Evaluation Specialist) and Ms. Rudy Sandhu-Rojon (Evaluation Advisor)	TBA	
12:00-12:30	UNDP/RBAP: Ms. Sergelen Dambadarjaa, Ms. Razina Gilgrami,	DC1-23F, Conference Room	
14:30-15:00	UNICEF/Evaluation Office: Mr. Jean Quesnel (Director)	UNICEF, 10th floor conference room	
15:15-16:15	UNFPA/Office of Oversight and Evaluation: Ms. Christina Bierring (Evaluation Officer)	UNFPA, DN-1810 (220 East 42nd St)	Call Ms. Bierring from the lobby (212-297-5226)
17:00-17:30	UNDP/Operations Support Group: Mr. Abdul Hannan (Program Specialist)	DC1-2178	Ext.6699

Mission schedule (Final)
Ms. Satoko Miwa, Team Leader (Senior Assistant to the Managing Director)
Ms. Nozomi Iwama, Evaluation Analyst (Senior Evaluation Officer)
Planning and Evaluation Department
April 11-13 (Washington D.C.), April 14 (NYC), April 15 (Ottawa)

Thursday, April 15th, 2004			
9:05	Depart NY (via Newark) for Ottawa		Flight CO 2170
10:35	Arrive Ottawa		
14:00	CIDA: Ms. Hatakenaka and Mr. Paul Sadler will welcome the mission	200 Promena de du Portage	
15:00	CIDA: Mr. Robert C. Jones, Performance Review Branch		
Friday, April 16th, 2004			
10:00	Depart Ottawa		Flight AC447
11:04	Arrive Toronto		
13:00	Depart Toronto		Flight AC001
Saturday, April 17th, 2004			
15:25	Arrive Tokyo		

Mission schedule
Ms. Satoko Miwa, Director
Ms. Nozomi Iwama, Evaluation Officer)
Planning and Evaluation Department

Time	Activity/ Meeting	Venue	Contact info/ Notes
Tuesday, May 25th, 2004			
	Narita to Stockholm (BA006 10 : 55-15 : 15、BA782 16 : 25-19 : 50)		
Wednesday, May 26th, 2004			
14:00	Sida, Mr.Stefan Molund, Director, Department for Evaluation and Internal Audit	Sida	Ingrid Nilsson UTV / Department for Evaluation and Internal Audit, Sida, SE-105 25 Tel: +46 (0)8 698 5441 Fax: +46 (0)8 698 5610
	Sida, Operational Department		
p.m.	*Stockholm to Copenhagen (SK425 18 : 50-20 : 00)*		
Thursday, May 27th, 2004			
9:30	DANIDA, Mr. Lars Ellle, Deputy Head, Evaluation Department,		Danida Ministry of Foreign Affairs 2, Asiatisk Plads, DK 1448 Tel: 45.33.92.10.85 / 92.00.00 Fax: 45.33.92.16 50
am	DANIDA, Mr. Peter Jul Larsen, Head, Quality Assurance Department		
	Copenhagen to The Hague, Netherlands (SK553 16 : 15-17 : 35 and Ams to The Hague by train)		
Friday, May 28th, 2004			
10:00-12:00	MOFA, Mr. Nico Van Derek, Ms. Rita Tesselaar, and Mr. Ted Kliest , Policy and Operations Evaluation Department,	Room 215, Bldg. Bosschulust	Policy and Operations Evaluation Department (IOB) Building Boschlust, Bezuidenhoutseweg 6, The Hague Phone: + 31 70 3486201 Fax: + 31 70 3486336
13:30-14:45	MOFA, Mr. Hans Pelgrom, Ms. Margreet Moolhuijzen, and Mr. Pit de Lange, Planning /Monitoring and Evaluation Project,	Rm 9C28, MOFA	
15:00-15:30	Wrap up at Policy and Operations Evaluation Department (Mr. Ted Kliest)	Rm 9C28, MOFA	
Saturday, May 29th, 2004			
a.m.	*The Hague to Frankfurt (The Hague to Ams by train and LH4677 14:55-16:00)*		
Sunday, May 30th, 2004			
Monday, May 31st, 2004			
Tuesday, June 1st ,2004			
	Frankfurt to Bonn		
9:30	BMZ, Mr. Klaus Kraemer, Deputy Head of Evaluation Unit		Federal Ministry for Economic Cooperation and Development Friedrich-Ebert-Allee 40 53113 Bonn Tel: +49-228-535-3122 Fax: 49.228.535.38.15

Mission schedule
Ms. Satoko Miwa, Director
Ms. Nozomi Iwama, Evaluation Officer)
Planning and Evaluation Department

Tuesday, June 1st ,2004(continue)			
	Bonn to Frankfurt		
14:00-16:00	GTZ, Dr. Fred Brandl, Head of Evaluation, Corporate Development		GTZ headquarters (Building 3, Room 3381) Dag-Hammarskjold-Weg 1-5, 65726 Eschborn Tel.: 06196-791724 Fax: 06196-796109
	Frankfurt to London (BA913 20:25-21:05)		
Wednesday, June 2nd , 2004			
9:00	JICA UK Office		26/28 Hammersmith Grove London W6 7BA, UK Tel : (44-20) 8834-1025 Fax : (44-20) 8834-1126
	London to Glasgow (BA1478 11:25-12:45)		
13:30	DFID, Mr.Arthur Fagan, Deputy Head of Evaluation Department		Evaluation Department, Department for International Development Abercrombie House, Eaglesham Road East Kilbride, Glasgow G75 8EA Tel: 44 1355 84 3502 Fax: 44 1355 84 3462
15:00	DFID, *Ms.Gail Marzetti,* Policy Advisor for Programme Guidance, Corporate Strategy Group		
	Glasgow to London (BA1497 19:35-21:00)		
Thursday, June 3rd,2004			
	London to Narita (BA007 15:45-)		
Thursday, June 4th ,2004			
	Arrival to Narita (BA 007 -11:25)		

添付資料４　参考文献リスト

CIDA

Canadian International Development Agency (2004). *CIDA Evaluation Guide*

Canadian International Development Agency (1998). *The Agency Accountability Framework*.http://www.acdi-cida.gc.ca/INET/IMAGES.NSF/vLUImages/Performancereview6/$file/AccFrmk.pdf.

Canadian International Development Agency (2000). *RBM Handbook on Developing Results Chains.*
http://www.acdi-cida.gc.ca/cida_ind.nsf/49d9f10330ed2bb48525677e00735812/d321e7d06cb2a65885256c62001b1b6c?OpenDocument

Canadian International Development Agency (2002). *Results-Based Management and Accountability Framework.*
http://www.acdi-cida.gc.ca/cida_ind.nsf/0/AAEBB93A31C1EB2B85256C54006C627D?OpenDocument.

Canadian International Development Agency (1996). *Results-Base Management in CIDA-Policy Statement*
http://www.acdi-cida.gc.ca/cida_ind.nsf/49d9f10330ed2bb48525677e00735812/9c32f96287da21d885256c3b006224c7?OpenDocument

Danida 関連

Department of Quality Assurance, Danida (2004). *Annual Performance Report 2003*

Danida (2003), *Format for Representation's Assessment of Country Programme,* 1st. Edition.

Danida(2003), *Guidelines for Programme Management*, 1St. Edition.

Danida(2004), *Standard Terms of Reference Performance Review.*
http://www.um.dk/NR/rdonlyres/84E5DB6E-F1E2-4A6D-9B94-86C98A74B0D7/0/standardTORPerformancereview3rdeditionjuni2004.pdf

Danida(2001), *Evaluations Guidelines*, 2nd Edition.
http://www.um.dk/da/menu/Udviklingspolitik/MaalOgResultatstyring/Evaluering/Guidelines/EvaluationGuidelines

Danida(2002), *Danish Development Assistance to Nicaragua.*

Danida(2004), *Ghana-Denmark Partnership.*

Lundgren, H.E., Haven North,w., and Rist, R.C.(2003). *A Review of Evaluation in Danida, Ministry of Foreign Affairs.*

DFID

Department for International Development (2004). *Nepal: Country Assistance Plan 2004-2008*

Department for International Development (2003). *Ethiopia: Country Assistance Plan 2004-2008*

Department for International Development. *Draft DFID Evaluation Guidelines.* http://www.dfid.gov.uk/policieandprioritites/files/evaluation%20guidelines%20revised/ev_guidelines_main.html

Department for International Development (2003).*2003 Autumn Performance Report.*

DFID Nepal(2003), *Country Assistance Plan 2003-2007*

Department for International Development (2003). *Evaluation Department in Brief.*

Department for International Development (2002). *Draft DFID's Evaluation Policy.* Presented to the Development Committee on 25 July 2002.

Department for International Development (2004). *Draft Synthesis Report on DFID Country Programme Evaluation*

Department for International Development (2003). *Romania Evaluation Approach Paper(draft) for DFID Evaluation on Country Programme.*

Department for International Development (2004). *Romania: DFID Country Programme Evaluation 1997-2003*, Draft Report.

Department for International Development (2004). *Cambodia: DFID Country Programme Evaluation 1997-2003*, Draft Report.

Department for International Development (2004). B*razil: DFID Country Programme Evaluation 1997-2003*, Draft Report.

DFID 関連

Flint, M., Cameron. C., Henderson, S., Jones, S., and Ticehurst, D.(2002). How Effective is DFID? An Independent Review of DFID's Organizational and Development Effectiveness, *DFID Evaluation Report EV640.*

Wilkes, J. and Poad, D.(2003). Country Performance Synthesis Study, *DFID Evaluation Report EV641*

Department for International Development (1997)(or Seceretary of State for Intenational Development?). Eliminating World Poverty: A Challenge for the 21st Century, *White Paper on International Development*. (Presented to Parliament by Command of Her Majesty November 1997)

Ireland, M., and McGregor, A.(2001). *Key Challenges in Country Programme Review – A Review of the Experience of DFID and other donors*. Presented at the Seminar organized by the Centre for Development Studies. Bath University on behalf of the Performance Assessment Resource Centre, December 2001.

GAO

Unites States General Accounting Office, (1998). *Performance Measurement and Evaluation: Definition and Relationships*

OECD-DAC

Binnendijk, A.(2000). *Results Based Management in the Development Co-operation Agencies: A Review of Experience.* Background Report presented to the February 2000 meeting of the DAC Working Party on Aid Evaluation

Sida

Egero, S., Schill, G., and Vandnjal, D.(2002). Mind the Middle-Country Plans: The Missing Middle of Sida's Country Strategy Process, *Sida EVALUATION* 02/07

Institute of Social Studies (2001). Assumptions and Partnerships in the Making of a Country Strategy – An Evaluation of the Swedish-Mozambican Experience, *Sida Evaluation Report* 01/07.

Baulch, B., Moore, M., Joshi, A., and Redengren, J.(2002). Implementation of the 1999-2003 Country Strategy for Swedish Development Cooperation with Vietnam, *Sida EVALUATION* 02/35

Conway.T., Juville, M., Redengren, J., and Vadnjal, D. (2002). Implementation of the 1999-2003 Country Strategy for Swedish Development Cooperation with Laos, *Sida EVALUATION* 02/36

Overseas Development Institute (2000). Fighting Poverty Strategically? – Lessons from Swedish Tanzanian Development Co-operation, 1997-2000, *Sida Evaluation Report 00/22*

Oxenstierna, S. and Wallberg, B.(1998). *Cooperation with Lithuania – a result analysis.* Department for Centeral and Eastern Europe, Sida.

Swedish International Development Cooperation Agency(2003). *Bolivia: Result Analysis 1997-2002*

Swedish International Development Cooperation Agency(2003). *Ethiopia: Result Analysis 1996-2001*

Swedish International Development Cooperation Agency. *Guidelines for Country Strategies in Swedish International Development Cooperation Agency.*

Swedish International Development Cooperation Agency(2004). *Looking Back, Moving Forward – Sida Evaluation Manual.*

Schill. G.(2001). The Management of Results Information at Sida – Proposals for agency routines and priorities in the information age, *Sida Studies in Evaluation* 01/01

UNDP

UNDP (2002). *Handbook on Monitoring and Evaluating for Results.*

UNDP(2003). *Country Evaluation: Assessment of Development Results- Bulgaria.*

UNDP(2004). *Country Evaluation: Assessment of Development Results- Egypt.*

UNDP(2004). *Country Evaluation: Assessment of Development Results- Nigeria.*

UNDP. *Assessment of Development Results.* http://www.undp.org/eo/ADR/index.htm.

UNDP(2003). Country Programme Outline for Kenya (2004-2008). Executive Board of the United Nationa Development Programme and of the United Nations Population Fund DP/CPO/KEN/1

UNDP(2003). *United Nations Development Assistance Framework (UNDAF) Kenya 2004-2008.*

UNDP(2003). *United Nations Development Assistance Framework (UNDAF) for Pakistan 2004-2008.*

UNDP(2002). *Results-Oriented Annual Report 2001.*

UNDP Evaluation Office( ). Guidelines for Outcome Evaluators. *Monitoring and Evaluation Companion Series #1.* http://stone.undp.org/undpweb/eo/evalnet/docstore3/yellowbook/documents/comp-series1.pdf

UNDP(2002) . RBM in UNDP :Technical Note, *http://www.undp.org/eo/Methodology/*

UNDP(2002) . RBM in UNDP : Selecting Indicators, http://www.undp.org/eo/Methodology/

UNDP (2001). *Managing for Results: Monitoring and Evaluation in UNDP.* http://www.undp.org/eo/documents/FrameWORKfinal.pdf (Replacement of the Chapter 7 of UNDP Programming Manual)

UNDP(2000). *UNDP Programming Manual.* http://www.undp.org/osg/pm/pm_body.htm

UNDP(2003). Second multi-year funding framework, 2004-2007. Executive Board of the United National Development Programme and of the United Nations Population Fund DP/2003/32

UNDP OSG (2004). T*en things to know about the MULTI-YEAR FUNDING FRAMEWORK 2004-07.*

UNDP OSG(2004). *Managing for Development Results – Key Definitions and Criteria for Country Programme Outcomes.*

UNICEF

UNICEF (2004). *Country Programme Evaluation – Methodology and Guidance Development.* http://www.unicef.org/evaluation/CPE_Briefing_Paper_15_Jan_2004.pdf

UNICEF(2002). *Report on the evaluation function in the context of the medium-term strategic plan.* http://www.unicef.org/evaluation/Report_on_the_evaluation_function.pdf

UNICEF(2003). *UNICEF Programme Policy and Procedures Manual: Programme Operations,* Chapter 5 Monitoring and Evaluation. http://www.unicef.org/evaluation/PPP_excerpt_ch5.pdf

UNICEF(2003). *Understanding Results Based Programme Planning and Management – Tools to Reinforce Good Programming Practice.*

http://www.unicef.org/evaluation/RBM_Guide_20September2003.pdf.

Cossee, O.(2001). *A Review of Country Programme Evaluations – In Selected UN Organizations and International Banks*. Commissioned by UNICEF, Division of Evaluation, Policy and Planning.

UNICEF. *Result Based Programme Planning and Management – Reinforcing Good Programming Practice Overview,* presentation material prepared by the Evaluation Office, UNICEF.

UNICEF. *UNICEF Malawi Health Programme, Integrated Monitoring and Evaluation Plan(IMEP) 2002-2006.*

UNICEF(2004). *Progress Report on the Evaluation Function in UNICEF.* United Nations Childrens' Fund, Executive Board E/ICEF/2004/11, 7 April 2004.

IADB

Inter-American Development Bank (2003). Country Programme Evaluation (CPE) Colombia: 1990-2002 Revised Version. Board of Executive Directors for Consideration RE-280-2, 18 November 2003

Inter-American Development Bank (2003). *Country Programme Evaluation (CPE) Nicaragua: 1990-2001.* Revised Version. Board of Executive Directors for Consideration RE-272-2, 19 June 2003

Inter-American Development Bank (2003). *Protocol for the conduct of country program evaluations.* Revised Version. Board of Executive Directors for Consideration RE-271-1, 15 April 2003

Inter-American Development Bank (2003). *Country Programme Evaluation (CPE) Costa Rica: 1990-2001.* Programming Commitee for Consideration RE-277, 19 February 2003

Inter-American Development Bank (2002). *Country paper guidelines,* Final Revised Version. Board of Executive Directors for Consideration GN-2020-6, 5 March 2002

Inter-American Development Bank (2004). *Evaluation Tool for Country Strategies*, document

provided at the interview held April 13th, 2004.

Inter-American Development Bank (2003). *Analysis of Project Evaluability year 2001*. Policy and Evaluation Committee for Consideration, RE-275, 10 January 2003

Inter-American Development Bank (2003). *IDB country strategy with Costa Rica*, Revised version. Board of Executive Directors for Consideration, GN-2263-1, 18 June 2003.

Office of Evaluation and Oversight, Inter-American Development Bank (2001). *Oversight Review of the IDB's Project Performance Monitoring Review, the Mid-Term Evaluation, and the Project Completion Report*. RE-247.

USAID

United States Agency for International Development. *US Policies and Procedures*, Programming Policy, Functional Series 200, ADS 200- Introduction to Programming Policy. 03/19/2004 Revision. http://www.usaid.gov/policy/ads/.

United States Agency for International Development. *US Policies and Procedures*, Programming Policy, Functional Series 200, ADS 201- Planning. 03/19/2004 Revision. http://www.usaid.gov/policy/ads/.

United States Agency for International Development. *US Policies and Procedures*, Programming Policy, Functional Series 200, ADS 203- Assessing and Learning. 03/19/2004 Revision. http://www.usaid.gov/policy/ads/.

US Department of State and United States Agency for International Development (2003). *Strategic Plan 2004-2009*. http://www.usaid.gov/policy/budget/state_usaid_strat_plan.pdf

United States Agency for International Development (2004). *USAID/ Zambia Annual Report FY2004*

MOFA- Netherlands (IOB-NL)

Ministry of Foreign Affairs, Netherlands(2004). Multi-Annual Strategic Planning Manual(09

April 2004)

Policy and Operations Evaluation Department, Ministry of Foreign Affairs. *Bangladesh – Evaluation of the Netherlands Development Programme with Bangladesh, 1972-1996.*

Policy and Operations Evaluation Department, Ministry of Foreign Affairs. T*he Netherlands Programme Aid to Bolivia.*

Policy and Operations Evaluation Department, Ministry of Foreign Affairs(1999). *Palestinian Territories – Review of the Netherlands development programme for the Palestinian Territories, 1994-1999.*

Policy and Operations Evaluation Department, Ministry of Foreign Affairs(2004). *Draft Terms of Reference for the Evaluation of the Implementation of the Sector-wide Approach in Bilateral Aid* (version:28 January), AVT04/BZ74003

Litjens P.(2002). *12.2.6.10.1 Guidelines for the application of the rating system for activities and sectors.*

World Bank

Operations Evaluation Department, World Bank (2004). *Rwanda Country Assistance Evaluation*

Operations Evaluation Department, World Bank (2004). *Brazil Country Assistance Evaluation*

Operations Evaluation Department, World Bank. *Country Assistance Evaluation: A Primer*

Operations Evaluation Department, World Bank (2004). *The Republic of Kenya Country Assistance Evaluation*

Operations Evaluation Department, World Bank (2003. *Dominican Republic Country Assistance Evaluation*

Operations Evaluation Department, World Bank (2004). *Zimbabwe Country Assistance Evaluation*

Operations Evaluation Department, World Bank. OED's Country Assistance Evaluation Methodology. http://www.worldbank.org/oed/oed_cae_methodology.html.

World Bank (1995). *The World Bank Operational Manual.*

http://wbln0018.worldbank.org/institutional/manuals/opmanual.nsf/TextTOC1?OpenNavigator&Start=1&Count=30&Expand=1.1.1.1.

Operations Policy and Country Services, World Bank(2003). *Country Assistance Strategies: Retrospective and Future Directions.* Prepared for the Committee on Development Effectiveness, CODE2003-0010.

World Bank(2003). OED Review of Brazil CAS Completion Report Review, SecM2003-0254
World Bank(2004). OED Review of Zambia CAS Completion Report, SecM2004-0105

その他一般

Piccioto, R. and Rist C. R. (1995). Evaluating Country Development Policies and Programs: New Approaches for a New Agenda. Jossey-Bass Publishers, San Francisco.

JICA
ジャイカ